

## 地域包括支援センターの活動と実績について

### 1 地域包括支援センター活動と主な実績

#### ①介護予防ケアマネジメント業務

二次予防事業対象者（要介護・要支援状態となるおそれがある者）には、市が生活機能評価（基本チェックリスト）の結果を通知して、通所型介護予防事業への参加促進を行い、申込みの段階から、地域包括支援センターがケアマネジメントを実施しております。

「介護予防事業」の平成25年度は1,670件で、前年度と比較して712件増加している状況でございます。

#### ②総合相談支援業務

介護保険だけでなく、様々な制度や社会資源を活用し、高齢者やその家族の総合的な相談を受け付け、支援する状況については、相談件数が平成25年度は2万7千810件で、前年度と比較して4,911件の増加でございます。

#### ③権利擁護業務

成年後見制度の活用促進、緊急措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応や消費者被害の防止に関する内容を行います。相談件数は327件で、前年度と比較して47件の増加でございます。

#### ④包括的・継続的ケアマネジメント業務

日常生活圏域のケアマネジャーに対する支援や助言を行うとともに、これにともないまして、個別ケースの地域ケア会議を開催しております。平成25年度は合計で、228件でございます。前年度と比較しますと94件増加しております。

#### ⑤介護保険の申請

平成25年度は2,601件で、全体が7,797件ですので、33.4%を受け付けております。前年度は、受付率は、31.5%で、件数の比較では、298件増加しております。

#### ⑥介護予防支援給付ケアプラン

要支援1・2の予防給付プランの取扱いですが、年々増加している状況でございます。平成25年度は14,802件で、前年度と比較して1,700件増加いたしました。

## 2 基幹型地域包括支援センター活動と主な実績

### (1) 基幹型の機能

#### ①統括機能

各地域包括支援センターが、地域包括ケアシステムの拠点としての機能を十分に発揮できるように、活動に対する支援や指導・助言、市との連絡調整、地域包括支援センター間の連絡調整を行う。また、介護・医療連携推進協議会に地域包括支援センターを代表して出席することで、介護と医療の連携を図る。

#### ②連絡調整

市との連絡調整、地域包括支援センター間の連絡調整において、全体を調整し、支援を行うとともに、情報交換の場の提供や、横のつながりの構築、相互の取り組みを参考にするなどにより、より良い事業展開を図ることで、常に、包括的支援事業を検証する。

#### ③後方支援

日常生活圏域における課題の集約や、地域包括支援センターの活動、関係機関との地域包括ネットワークの構築、成年後見制度や権利擁護、虐待や困難ケースへの対応、などを専門的な見地から支援や、指導、助言を行うとともに、常に、迅速な連携が図られるような体制を組むことで、継続性、一環性のある安定した対応を図る。

#### ④人材育成

高齢者本人や家族、地域住民の様々な問題に対応するための知識をもつ人材を育成するため、地域包括支援センター職員や、ケアマネジャーの業務に即した対応能力の向上を図る研修等を行う。

### (2) 基幹型地域包括支援センターの活動

基幹型の4つの機能を十分に果たすために、活動実績の項目としている、**地域包括支援センターの機能強化、医療との連携、介護予防見守りボランティア連絡調整会議、困難ケース対応や会議**の実施状況を数値化しております。

日頃から、市と情報共有を図りながら、連携に努めている状況です。

また、基幹型の機能である④人材育成につきましては、ケアプラン指導研修事業を通して、専門家や、他自治体の職員、などを講師に、地域包括支援センター職員、介護支援専門員（ケアマネジャー）への研修を行い、質の向上を目指しています。

#### ※ケアプラン指導研修事業の実績

- ①ケアマネジャー対象研修：6回、延141事業所、延246人
- ②包括職員対象研修：3回、延15センター、延78人